

自昭和十九年九月一日
至昭和十九年九月三十日

陣

中

日

誌

22698

沖繩

獨立遠征隊第七大隊第一中隊

九日
月
日
校

〇八三〇
一一三〇

一、網架構築作業実績

作業内譯		區	分	指揮	班	工	工	工	工
作業内譯		作業	種類	交通	交通	交通	交通	交通	交通
		人数	時間						
		人	時						
		人	時						
		人	時						
		人	時						
		人	時						

二、種北構築作業指針等、橋及材料取集場往復、為監視
 三、陸軍衛生士専使 高橋信義

手勢重箱、應為手納隊第六七五〇部隊止表中、トコロ歸隊

四 命令受領 一校 革一

伊野田日命 第二十九號

伊江島警備隊命令

八月一日一七〇〇
伊江島國民学校

一 巡察物校 陸軍山尉 川上 勇 三

口ノ首領書 通り巡察物校ニ服勞スヘシ

二 部隊八團二日〇ハ。ヨリ對戰軍隊様ヲ式ヲ舉行スルニ付テ、如

ク行ヘシ

ノ 各隊及勤勞奉仕隊ハ〇ハ。〇〇是第九中隊陣地持向高津邊野地

ニ集合スヘシ

2 経理補佐官ハ式場準備ニ浦津村ハ奉司ニ任ス

3 下工官以下ハ軍備、軍裝兵ハ下京村、服裝トス

4 各隊ハ式場準備ノ備兵一名ヲ團二日〇七。〇〇〇ニ経理室前ニ集

出シ鈴木(長)少尉、指揮ヲ受ケシムヘシ

三 依命受領

團長一五五部命令 第十一號

伊江島守備隊命令

八月一日一八〇〇
伊江島國民学校

一 守備隊ハ主力ヲ以テ明日ヨリ對戰軍隊、構築ニ着手セントス

二 各隊ハ豫メ指示セル所ニ悉キ事故、兵力ヲ對戰軍隊、構築ニ専ラシメ

カ工事ヲ實施スヘシ

三 各隊、担任区域隊ハ守備隊長本一日現場ニ於テ指示シタルモノニ依ルハ

四 当分、間勤勞奉仕隊(國民学校生徒ヲ除ク)ハ對戰軍隊、構築ニ任セ

シム

五 對戰軍隊ノ構築要領ハ下記ニ依ルヘシ

正 記

ノ 營所ハ三用断面トシ幅少クモ五米深サニ米トス

2 重要方面ハ工事、進退ニ供ヒ逆又梯形断面ニ構築ス

九月二日
 十一時
 伊豆郡立学校
 自一八三〇
 〇・三・三〇

諸江

3 前二頂以外、方法ニ依ル場合ハ豫メ守備隊長、承認ヲ受ヘン
 六 對戦車據構築查員ハ全撤、状況ヲ監視スルト共ニ適宜指導ヲ行マヘン
 守備隊長 西村 大 尉
 下達云 各隊長ニ警言ヲ俾、タル後命令受領言ヲ集口産登記セシム
 六人 手

本日 現勢ニ如シ

將校	進士官	下士官	兵	出張	計
三	一	八	九〇	一四	一一六

七 中隊九月主専行準備表附表第一ノ如シ
 諸 江 大 尉

各小隊長ニ對シ對戦車據構築場、現地指示及477陣地構築作業指導監督
 焉監視

二 對戦車據構築起之式ニ参加

三 477陣地構築作業実施

區	區	區	區	班	指揮對	分	區	區	區
隊	隊	隊	隊	隊	隊	隊	隊	隊	隊
進	進	進	進	進	進	進	進	進	進
入	入	入	入	入	入	入	入	入	入
路	路	路	路	路	路	路	路	路	路
11	42	5	42	11	07:10	15	04:10	195	40
11	10	11	11	11	07:10	15	04:10	195	40
11	10	11	11	11	07:10	15	04:10	195	40
11	10	11	11	11	07:10	15	04:10	195	40

準備陣地
 進入路
 文 進 據
 時間
 一國民学校生徒 二十六名
 奉仕隊 百二十三名
 一「アイスマイト」ニ十三本
 雷管 一 三本
 彈丸數 六五本
 以上使用

四 伊豆島村々民ノ勤勞奉仕隊及國民学校児童ノ奉仕 一四九名奉隊
 五 勤勞
 本週ノ勤勞者ノ如シ

九月三日
諸江
伊藤國兵衛校
07.30

中隊通番上等
同 下十番
主任 向山 又 治
巨長 平尾 燦

作業内譯

IV	V	VI	VII	VIII	IX	X	XI	XII	
進入路	掩蔽據	掩蔽積工	進入路	掩蔽体	交通據	車據	隊對戰	介據類	隨作
	144	144	144	144	144	144	144	144	144
	14	11	23	43	63	66	60	60	60
07.00	05.30	04.00	02.30	02.20	02.20	02.20	02.20	02.20	02.20
90	60	50	30	20	20	20	20	20	20
前弁	民家借用品	参加	三分隊ハ對戰車據作業	二ノイナリハ五本使用					

- 一 伊藤村々民、二 據一、八名木隊
- 三 陣中糧菜作業及針刺等隊作業準備監督、高根親
- 四 命令受領(坂率)

圖一五回係命 第十一號

守備隊

九月三日一三〇〇
伊江國兵衛校

一 午記、言守備隊戰鬥前の上京ニ関シ大隊長直接補任ニ任セシム

正記

守備隊長	西材 大材
同	山田 眞
同	山下 武夫
陣中材料	鈴木 清
同	渡区 善一
同	尾崎 良衛
陣中材料	山守 又吉

下座云 三、四、五、六、日傳ニタル後命令支領有ヨ集メ口許筆記セシム

三日命支領 (一、二、三)

圖記一五而日命 第四十號

守備 送命

九月二日一四、〇〇
伊江國民學校

一 陸軍官長 井上 一三

古、吉野秀雄、馬、九月四日、九月六日、間二泊二百、豫定ヲ以テ嘉手納探隊六七

五〇部隊本部ニ比儀ヲ命ス

一 伊江陣地構築作業支社

作業内譯

區	作	業	故	量	人	実働	人	摘
分	種	類	米	匁	米	實	時間	時
五	交通	疎	0.2	24	12	2.30	27.00	
	交通	疎		3	11	0.40	44	

諸江

九月四日
日曜 晴後雨
伊江國民學校
〇七、〇〇

一〇〇〇

二 陣地構築作業指導監督、馬各山隊指揮所陣地監視

一三、三〇

三、内務実施

全員全内外大掃除

四 陣地構築ニ精進スル部隊將兵ニ對シ慰勞、馬前隊長ヨリ清酒ヲ獻ケタルニ

内各隊ハ本四日一六、〇〇訓示、隊形ニ集合

一 陣地構築作業実施

作業内譯

區	作	業	故	量	人	実働	人	摘
分	種	類	米	匁	米	實	時間	時

諸江

九月五日
月曜 晴
伊江國民學校
〇七、〇〇

〇八〇〇
 九月六日 (謹)
 伊賀警察
 〇七〇〇

区	作	人数	実働人	実働人	摘	班			
						指	交	通	壕
Ⅱ	掩	17	15	4	6.5				
Ⅱ	掘	11	13	11	11				
Ⅱ	掘	07.00	06.00	06.00	06.30				
Ⅱ	掘	15.00	18.00	66	69.30				

- 一 477陣止及射撃車壕構築作業実施
- 二 陣中構築作業指揮監督、監視
- 三 小学生四年生五十五名勤勞奉仕隊奉隊(午前中)

作業内譯

外 區 作 人数 実働人 実働人 摘

〇八三〇
 一〇三〇

区	作	人数	実働人	実働人	摘
Ⅱ	掘	15	27	6	55
Ⅱ	掘	10	9	1	17
Ⅱ	掘	04.00	04.00	07.00	06.30
Ⅱ	掘	6.00	40	63	73.20

一、クマート 一本
 二、クマート 一本
 三、クマート 一本
 四、クマート 一本
 五、クマート 一本
 六、クマート 一本
 七、クマート 一本
 八、クマート 一本
 九、クマート 一本
 十、クマート 一本

- 一 伊豆村々民 勤勞奉仕隊奉隊
- 二 比表隊

曹長 丹上 一三

- 三 選手納球第六七五〇部隊本研ニ出張中、トコロ歸隊
- 四 不下曹長以下十六名禮拝場作業ニ服務ス
- 五 軍參謀長閣下隨地視察、歸業伊セラル中隊長等隨行出回後隨行

交通棟

三 第二十二重歩隊長閣下陣地構築（第二小隊陣地）セラル

四 伊守作命 第二四號

才補 隊 命 令 九月七日一七時
田江島國民学校

一 各隊ハ現在構築中陣地ニ對シ掃蕩ニシテ掃表ヲ至急實施シ尚爾今陣地構築ト備表ヲ合セ實施スヘシ

二 備置ニ五作命第三〇號ニ基テ武部隊陣地掃蕩ノ爲本七日ヨリ三日四日

豫定ヲ以テ即斷ニ出張ス

三 陸軍大尉 詰 辻 春 美

本職出張不在間才補隊長代理ヲ命ス

才補 隊長 西 村 大 尉

下野云 命令受領首ヲ集メ口徑確認セシム

九月八日
金曜 陣地
伊守作命
のて。

諸江

四 伊守作命

庭前作命

一 八月八日鈴木少尉ハ本日ニ引續キ「セメント」揚陸並ニ格納ヲ實施スヘシ

依テ前七八八個連中隊ハ下士官一二以下三名ヲツセ、ツク陣前官ノ

元ニ至此シ指米ヲ受ケシムヘシ

一 伊守作命第十四號庭前命令第一項ニ依リ部隊使役兵トシテ并レ隊長以下

三名召服務

二 478陣地構築作業表並

作業内譯

區	作	業	散	量	人員	實際	人	摘
分	種	類	米	圓	二	米	兵	其
指	揮	陣	地	ノ	備	表		
五	陣	地	ノ	備	表			
五	陣	地	ノ	備	表			
五	陣	地	ノ	備	表			
16	16	9						
16	16	9						
96	96	54						

九月九日
諸江
土曜
伊江國民学校
八、〇、〇

Ⅱ	進入路						
Ⅲ	陣地ノ備装		16				
Ⅳ	材木ノ搬出		08.00			1.52	

三 命令支領「坂」
園遊二五四日命 第四十二號

八月八日一七、〇、〇
伊江國民学校

守備隊命令
陸軍少尉 川上 勇 三

右、青葉旅會出陣、馬場九日ヨリ一日、豫定ヲ以テ隊第七八三六
部隊ニ出張ヲ命ス

陸軍大尉 嶋 泛 春 美

右、吾来ル十一日、中隊長會報ニ出陣、馬場十日ヨリ二日、豫
定ヲ以テ渡久地隊第七八三六部隊本陣ニ出張ヲ命ス

一 内務実施
ノ兵務被服、手入

2 環境ノ整理

二 伊江國民学校生徒二三百名(末隊セラル)

三 各隊陣地ノ二三百名陣地ノ掃蕩、掃蕩作業実施

一 474陣地掃蕩作業実施

作業内譯

匠	作	業	散	量	人	実	人	摘
分	種	類	米	画	寸	水	質	時
文	通	球	5	12	06.00	72		
Ⅱ	進入路		22	13	06.00	71		
Ⅲ	陣地ノ備装							
Ⅳ	掩砲據			11	07.00	71		
Ⅴ	材木ノ搬出							

九月十日
諸江
日曜
伊江國民学校
〇七、〇、〇

二 出張

（請江）
九月十一日
月曜
伊江島国民学校
〇七、〇〇

陸軍大尉 諸 泛 晋 美
中隊長會報出席、橋渡又地球第七八二天部隊ニ出張
三人奉

本日、現在實在、如シ

將校	進官	下官	兵	出張	計
二	一	八	九〇	一五	一一六

四 衛生

練兵休 一身兵 勇 才 義 男

五 命令受領（板 萃）

伊守作命 第六十六號

守備隊命令

陸軍大尉 諸 泛 晋 美

右、百明十一日、中隊長會報出席、橋本十日ヨリ二泊二日、豫定ヲ以テ及又地球第七八二天部隊ニ出張ヲ命ス

二 陸軍少尉 川 上 勇 三

〇 音楽隊会報ニ出席、爲明十一日ヨリ二泊二日、豫定ヲ以テ及又地球第七八二天部隊ニ出張ヲ命ス

477 地球俱樂部会報

休養内譚

區	休	業	敵	靈	人	実勤	人	摘	
分	種	類	求	固	三	次	質	時	間
分	種	類	求	固	三	次	質	時	間
分	種	類	求	固	三	次	質	時	間
分	種	類	求	固	三	次	質	時	間
分	種	類	求	固	三	次	質	時	間
分	種	類	求	固	三	次	質	時	間
分	種	類	求	固	三	次	質	時	間

三 出張

陸軍少尉 川 上 勇 三

音楽隊会報、橋渡又地球第七八二天部隊ニ出張

諸江
九月十二日
火曜
伊豆國長岡
〇七、〇〇

三 木下曹長以下二百材不運搬、便衣ニ服務

一 477陣北捕集作業支遣

作業内評

區	作	業	散	量	人員	実働	人	抽
分	種	類	米	米	兵	時間	時	
宿	文	通	疎	0.3	45	7	9	05.30
班	陣	北、備	後					05.30
本	文	通	疎		15	14		05.00
五	進	入	路	2.7	17	13		05.30
五	掩	砲	壕	2.0	17	14		07.00
五	文	通	疎		17	14		2.27

伊豆國長岡小学校生徒及青年小学校生徒、表北下京田六区隊隊

〇九、〇〇

三 出張隊

一 陸軍大尉 諸 泛 春 天

同 少尉 川 上 勇 三

度又北隊第七八二天部隊出張マ、歸隊

四 軍高坂參謀監陣北捕集、馬米伊セラル

三 命令受領「板五」

德源二五西命令 第十八號

守備隊命令 九月十一日一八、〇〇 伊豆國長岡

一 情報ニ依リハ敵軍行隊、本島上空ヨリ偵察ヲ実行シタルモノ、如ク状

況ハ緊迫ニ徴アリ

二 守備隊ハ陣北、備後ヲ敵軍スルト共ニ取敢ス戦闘ニ必ヨリ爾種態ニ

攪拌ヲ陣北附近ニ分置シ警戒ヲ嚴ニシ更ニ陣北ヲ活性化シ戦斗ヲ準備セ

ントス

三 各隊ハ左記兵力ヲ陣北附近ニ派遣シ警戒警戒ニ仕セシム

正記

一般中隊ハ小隊長、指揮スル約半小隊

三所中隊ハ所ハ九中隊陣北正面ニ各々一、分隊、兵力ハ一隊表一、隊

トシ

於中隊、四一、小隊

田各隊ハ、即ニ着手シテ、半通達索摩、定次ヨリ進マレン

前記水露音ハ半通達下直、元成臣天露露音トス向機機陣表露音、機

各隊陣北附近、索摩一ヨリ使用マシコトヲ待

ニ各隊ハ各入手通達ニ幾山銃陣一ニ〇發聲後田ハ〇發附一銃ニ付、田〇

通直ニ使用シ得レ如ク準備スノシ

之ヲ各隊ハ、兵隊係ト連絡シ明日十二日中ニ受領、忍演スノシ

六時迄給水班ハ各隊長ト連絡シ陣北附近、水筒、水、補給スルト共、戰

ニ考慮シ水運搬ニ因スル準備ヲ速ニスヘシ

ニ入隊副官ハ前記薄葉機銃並ニ器材ニ因シ速ニ交付、處置ニ備スヘシ

于 中隊長 田 村 八 尉

下隊云 命令又領旨ヲ集メ、口達事記セシム

田 中隊休命下直

獨逸士伊一休命 第十二號

第一 中隊 命令 九月十二日二〇、三〇 伊江島川平

一中隊ハ、獨逸士五所休命南十八號ニ基キ所露、運案及機機ヲ各小隊陣北

附近ニ分置配筋ニ付キ警戒ヲ嚴ニス、更ニ陣北ヲ活性化セントス

ニ左記書領ニ基キ各小隊長ノ一、分隊ヲ以テ陣北ニ付キ警戒スル、外牧

育訓練ヲ実施スヘシ

正記

ノ 一般ニ天露露音トス但第一小隊ハ八鎗形天露ニ依ルヘシ

又 第一三小隊ハ、機機体内トス

ヲ 各小隊長ハ陣北ニ付ケル露音ニ因シ給與法露音ヲ設置索摩判機機

ノ格納等ニ因シ其、書領ヲ研究、ト明朝ノハ、〇〇古露記報告ス

ハシ

三 江ノ曹長ハ陣中附近ノ家屋ニ各小隊ノ位置ヲ指示シ得ル如ク交渉

シ小隊長ニ引渡ス如ク準備シ共ノ結果ヲ密書ニテ大隊本部ニ報告ス

ハシ

四 各小隊ハ陣中ニ使用ノ先ニ消毒ヲ表シ向陣中ニ付ケル衛生ヲ細部

ヲ調査シ注意スヘシ

五 兵器隊及給養隊ハ彈薬糧秣ノ分配ニ関シ討敵方案ヲ報告スヘシ

六 陣中ニ於ケル日課時間ハ務ニ示スモノ、外ヲ考慮リトス

七 各小隊ハ明日十二日二。〇。〇区ニ其ノ準備ヲ定メスヘシ

八 陣中隊長及曹長ニ巡視時各小隊長立會スヘシ

九 陣中配備スル時ハ明日十二日二。七。〇。ト豫定スルモ別命ス

第一 中隊長 諸 込 大 尉

下任云 指揮隊長ニ口頭報告セシム

五人爭

本日ノ現費左ノ如シ

將校進言	下書	兵	出張	計
三	一	八	八九	一四二一六

六術生

陣兵休 二場中 遠山 眞一

一 橋元一五面夜命一八號江一橋元一守一隊命等二二號ニ至リ兵力派遣

二 各小隊兵力派遣三ノ左記ノ如シ

區	分	山隊長	分隊長	兵	計	備
第一山隊			一	一三	一四	小隊長、園上、真
第二山隊			一	一二	一四	分隊長、園下、島
第三小隊			一	一二	一三	残部
計			二	三七	四一	

九月十三日
水曜 陣
伊予國四万十夜
〇七、〇〇

諸江

〇八〇〇
〇七〇〇
一三〇〇

三 甲斐國高平守松平康元(一六五二) 幼丹奉任三〇名果隊

四 中隊指揮班、午前中隊取替隊採下兼更替

五 軍司令官訓示 傳書

訓示 四百五十四

訓示

國邊漸、難キ、以江上ヲ居ニス、キ兵団長ト一室ニ會シ、兵、雄園ニ居
シテ所懐ヲ聞探スル、機ヲ伺ソルハ本城、密ニ本城トスル所アリ

業ニ本城ハ雲江ノ大内山ニ居サレ之シキヲ軍沈平、室費ニ享フニ成ル
敵向ヲ以テカカシニ智エシ

惟、ニ此古、昔高ニ居居セル皇國ガ騎木ヲ雲滅シテ任瀬ヲ既創ニ同ク
ハテ天候ハ今ヤ日捷、間ニ在リ而シテ軍ノヒスル南西諸島、此ノル正

ニ其、運命ヲ決スヘキ決勝會戰場タル、公算極メテ大ニシテ密ニ皇國
ノ興廢ヲ變向ニ更前シテレカ、吾位ニ在リ
所ニ本城奈ノ次スル所アリト察シテ

開初、奉シ候シキ前百、陣寇ヲ踏ミ、密ニ前下將兵、ニ勇ニ清向、此敵
ニシテ推通ナル會戰ヲ御行シ、誓ヲテテ終直直ヲ遂行シ、

野言ニ對ニ奉シ候トコトヲ明ス

之カ爾迄ニ本城沈平、大縮ヲ板バシテ吾等スル御アニトス

第一 亦敵ノル軍に下伏居、團結ニ固成ス、

第二 敢敵精神ヲ發揚ス、

第三 速カニ取捕、整、且調ハニ敵底ニ打シテ不覺ニ取トヘ、

第四 海軍艦隊ニシテ船ト緊要、レ協同團繫ヲ保持ス、

第五 現世自活ニ敵ス、

第六 江戸信長、レテ誓ヲ重ノ下敵ニ對テ、進シテ御工ヲ防衛スル

如ク指導ス、

第七 防諜ニ注意ス、

六 中隊幹部教育

一 軍紀ノ根柢ニ就テ

一四〇〇

イ 幹部の反省

ロ 兵の指導上の注意

ハ 最少ナル時間、利用教育時ニ精神教育

ニ 幹部の自刀ニ就テ

持ニ厳正治後ナル教育

ニ 敬礼ニ就テ

田 部下ニ對スル任務、明方法ニ就テ

イ 必ス二人以上ニ在テ行動ビシムルコト 準備行動ヲ禁ス

ロ 報告、指揮時ニ実行報告

ニ 信實必詞ニ就テ

六 今後、中隊、行動ニ就テ

イ 俾世構築ニ就テ

ロ 教育訓練ニ就テ

ニ 教育法ニ就テ

持ニ幹部、兵士、士長、兵士

六 編隊一五隊、隊長、隊員

一 隊長、全圖、隊長、副、協力、又副隊長行

イ 命令、内容、熟知

ニ 信實言、指揮隊力ヲ持ニ

イ 目、信念ニ向シテ迅速ニヨ

三 幹部トシテ、風格ヲ作シ

四 幹部ハ大ニニ勸進セヨ

五 指揮班ノ任務ニ就テ

六 兵衛関係ニ就テ

七 経理関係ニ就テ

八 衛生ニ就テ

七 中隊兵員検査実施

ハ 検査項目、中隊夜行兵器全副

彈藥支給數量表別紙第三(如左)

二七三〇

九月十四日
不禮
伊達國民学校
〇七〇〇

(註) 諸江

八 各小隊の運送
九 経理
イ 糧秣 分設

各小隊へ支給數量表別紙第三、四

一 474陣地構築作業支給

作業内訳

区	作	業	散	量	人	実働	人	備
分	種	類	米	圓	立方	時間	時	
指揮	交通	掘						
22	2	1	17		17			
76	35	17		61	30	12:00	29:00	
3	37	35						
								一 指揮班及第三小隊ヨリ應援
								作業アリ

〇八・三〇

一一・〇〇

(註) 諸江

九月十五日
伊達國民学校
〇七〇〇

二 伊達村國民学校午直口千二〇名ノ勤勞奉仕隊素隊

三 陸一小隊陣地構築ニ関シ中隊 分兵力作業支給、而シテ指示ヲ各小隊長ニ

現場ニ於テ指示ヲナス

四 陸一小隊陣地構築ヲ中隊全兵力ヲ以テ作業開始

一 474陣地構築作業

作業内訳

区	作	業	散	量	人	実働	人	備
分	種	類	米	圓	立方	時間	時	
進	入	路						
2	2	23			24			
16					16			
					56			一 各小隊ヨリ、應援
					アリ			

三 中隊全兵力ヲ以テ陸一小隊陣地構築作業支給

一三〇〇

三 防夜給水班ノ政務軍上等兵和久田氏工、惣置系ニ正記ノ通り参加

左記

將校 大村 諸 泛 香 美 以下三名

進士官 進村 向山 又治

下士官 曹長 前川 吉 次 以下二名

兵 兵長 大西 清 彦 以下二名

四 日命受領 一枚 在

伊守西日命 第四十八號

才備隊命令

九月十五日一七〇〇 伊江高田兵學校

一 週番副官 井上 曹長

頭書、通り週番副官ニ服券スヘシ

内務美札

三 第三山隊分七ヨリ歸隊

三 伊守西日命受領此美札、各山隊分隊員下米美札

諸江
九月十六日
上野 隊員
伊守西日命
一三〇〇
一三〇〇

九月十七日
〇八〇〇

一 各山隊分隊員訓練美札

二 干袋ハ沐養

三 中隊長各山隊、陣地視察 高田視

一 中隊、伊守村山平區ニ駐在作業美札

二 第一山隊分七ヨリ歸隊

三 中隊長陣地視察、高田視

四 命令受領

伊守西日命 第四十一號

才備隊命令

九月十八日一七〇〇 伊江高田兵學校

一 陸軍山射 山下 武夫

石ノ首等奔速格ノ滿願十九日ヨリ四泊五日、豫定ヲ以テ那覇市ニ出張

ヲ命ス

二 陸軍匠長 肩 吉 太 助

石ノ首等奔速格ノ滿願十九日ヨリ一泊二日、豫定ヲ以テ名護ニ出張

自一三
九月十八日
月曜
伊守西日命
〇七三〇

命ス

三

陸軍少佐

高橋 啓

百、百部予業務連絡、前日十九日ヨリ一日三日、連日ヲ以テ各隊ヨリ
原野所ニ出張ヲ命ス

三 中隊命令下達

一

陸軍二男兵 遠山 清次

百、前日十九日隊第一八八の三組隊ヲ入院ヲ命ス

一七三〇

六 旅团长謝不並ニ禮状打合せ、兩庄記、如ク出席ス

正記

場所 伊豆島塚一六六五〇部隊

出席者

藤 江 隊長

山下 少尉

川上 少尉

七 伊命文類

伊守西隊命 第二十二號

守備隊命令

九月十八日ニ一〇〇
伊豆島國民学校

一 守備隊ハ圖記一五夜間二千九號ニ依リテ力ヲ以テ前日ヨリ「飛」場
建設作業ニ協力セントス

二 各隊ハ前日十九日ハ、ハ、〇〇作業用如前日「飛」場南端ニ集合スヘシ

三 各隊ハ各種北ニ派遣シアル兵力ヲ本日中ニ歸隊セシムヘシ

四 隊中隊ハ全員各中隊ハ一分隊ヲ殘置シ南北構築ヲ續行スヘシ

五 飛行場建設作業間隙西田旅団命令二九號ニ基キ隊中隊ヨリ自動貨車

二輛「操」機ヲ奉ル一ヲ飛行場大隊管理室前ニ差出シ「口」主計中尉ノ

指示ヲ受ケシムヘシ

六 給水班ハ主力ヲ以テ美田前隊一部ヲ以テ「工」前隊ノ給水ヲ実施スヘシ

七 各中隊ハ將校二十名二兵ニテ前日十九日「飛」行場ニ差出「口」レール

等ヲ確保スルト共ニ飛行場準備ヲナスヘシ

西材 六材

諸江
九月十九日
水曜
07.00

下庄法 命令受領旨ヲ集入口序筆記セシム
477 陣北構築作業実施

作業内譯

區	分	指揮	班	工	工	工
依業	種米(圓)青米	文通棟	進入路	仙川/便報	掩体	文通棟
量	員				1個	13
人	防間					17
突倒	防					16.10
人						1.05
椅						

陣北構築作業実施要領
陣北構築

07.30

08.00

三 出表

一 陣北構築 陣北構築隊第一八八〇部隊ニ出張ス

二 陣北構築 陣北構築隊第一八八〇部隊ニ出張ス

陣北構築隊 陣北構築隊第一八八〇部隊ニ出張ス

四 入院

一 陣北構築 陣北構築隊第一八八〇部隊ニ出張ス

陣北構築隊 陣北構築隊第一八八〇部隊ニ出張ス

五 入事

本日、陣北構築隊

諸江

九月二十日
水曜
07.00

477 陣北構築作業実施

作業内譯

將校	進言	下官	兵	出張	入院	計
三	一	七	八七	一六	一	一一六

區	作	業	故	量	人	実働	人	椅
分	種	類	米(圓)	米	員	時間	時	
班	糧	交通	棟	5.8	32	10	07:00	80
班	糧	木道	履			07:00		「コイ」ア「ト」二本使用
班	糧	進入	路		3	19	07:50	「コイ」ア「ト」二本使用
班	糧	進入	路		1.5	25	10	
班	糧	進入	路				1:33	
班	糧	進入	路				1:50	

〇八三〇

一二三〇

二 陣地構築指導監督、無此視

三 鈴木旅団長陣地視察、而兼伊中隊長之ニ随行ス

四 命令支領

伊予西日命

九月二十二日

守備隊命令

九月二十日三二〇〇
伊予西日命

一 九月十八日命令所一頂削除ス

三 離隊

小林正修二等兵離隊ニ由リ中隊全員ヲ以テ搜索ニ実働セルモ判明デス

一 内務実地

ノ武器被服ノ手入

ノ環慮ノ整理

二 離隊自歸隊

小林正修二等兵離隊

三 陣地構築作業実地

作業内譯

區	作	業	故	量	人	実働	人	椅
分	種	類	米(圓)	米	員	時間	時	
指揮	交通	棟	0.4	4	10	03:00	30	

自一九〇〇
至二〇〇〇

諸江

九月二十日
木道構築

〇八三〇

〇八三〇

一二三〇

九月二十一日
伊豆川橋梁作業実施
07:00



区	分	種	種	Ⅱ		Ⅲ	Ⅳ
				Ⅱ	Ⅲ		
区	分	種	種	Ⅱ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅳ
作業	種	類	交通	遮	遮	遮	遮
散	米	米	路	入	体	体	体
量	間	時	3	3	10	22	3
人	時	時	23	25	20	10	20
実働	時	時	03:00	05:50	07:00	1	0230
人	時	時	67	137.5	140	10	72
摘							58

作業内訳

477A 伊豆川橋梁作業実施

一ターレット二本使用
一ターレット十本使用
一ターレット十本使用

九月二十一日
伊豆川橋梁作業実施
07:30



区	分	種	種	Ⅱ		Ⅲ	Ⅳ
				Ⅱ	Ⅲ		
区	分	種	種	Ⅱ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅳ
作業	種	類	交通	遮	遮	遮	遮
散	米	米	路	入	体	体	体
量	間	時	4	4	10	25	4
人	時	時	04:00	04:00	10	25	04:00
実働	時	時	500	40			500
人	時	時					40
摘							40

二 障り橋梁作業員等監督、橋隊長並記
命令支領 (一坂平)

伊豆川橋梁作業実施 第五十二号

才備隊命令

同番司令 高橋中尉

同副官 近島雪長

巡察特校 向山進尉

伊豆川橋梁作業実施

477A 伊豆川橋梁作業実施

作業内訳

自〇九〇〇
至一〇〇〇
一三三〇

IV	II	III
進入路	進入路	砂防、運搬
	21	
26	24	
0200	0200	
77	48	

三 幹部教育
二 各山隊ハ今駐ラ解散シ已苦ハ歸隊

教育事項

ノ命令、実行ニ就テ

之服務ニ就テ

三 命令受領「板五」

四 行軍「一六料」

三 命令受領「板五」

伊守四日命 閉麥十四號

守備隊命令

陸軍大尉

九月二十一日一九三〇
伊江國民学校
諸 五 香 美

月一四〇〇
至一八三〇

九月二十日
日曜
伊江國民学校

諸江

六 中隊命令下座
五〇部隊本部ニ出張ヲ命ス
石ノ百等弁更替、前自九月二十日
間一泊四日豫定。以テ嘉手納球場六七

中隊命令

一 指揮班

同

第二小隊

第二小隊

預書、通り掃入変ヲ命ス

四四陣地構築作業実施

作業内容

區作	兼敵	墾人	突働人	抽
分種	類米園	米	買時	間時
交通	壕	120	15	7
		0630	41	

九月二十五日
月曜
早稲田大学
〇七〇〇

諸江

一 センシ、利用法ニ就キ
二 物理地構案休業実査

区	作	業	数	量	人	実働	人	積
分	種	類	米	石	手	時	間	積
工	交通	塚	4	10	10	06:30	63	一 ライツイト 一〇本使用
工	植	打				07:15		
工	植	入	1			06:30		
工	植	入	7			07:15		
工	植	入	10			07:15		

物資部、池上、出展

区長 池上 静

〇七三〇

一四〇〇

一八二〇

区	作	業	数	量	人	実働	人	積
分	種	類	米	石	手	時	間	積
工	交通	塚	3	14	14	06:30	84	一 ライツイト 一八本使用
工	植	打				06:30		
工	植	入	2			06:30		
工	植	入	5			06:30		
工	植	入	6			07:15		

事務連絡、備忘録、内務部六七五〇部、部務本部、出展

区長 池上 静

四 幹部教育
教育委員

渡久池、第七八三六部、部務本部、所轄課

九月二十六日
火曜 晴
伊豆 伊豆
07.00

三日命受領

伊豆西日命

伊豆西日命

口、言物、調、辨、辨、本、二十、日、ヨリ、一、泊、日、ノ、儀、定、リ、以、テ、百、餘、ニ、出、旅

マ命ク

一、477、俾、比、構、築、作、業、大、途

作業内詳

區	種	指	本	Ⅱ	Ⅲ
區	種	指	本	Ⅱ	Ⅲ
作	業	文	文	枕	枕
業	類	通	通	打	打
敷	米	疎	疎		
量	回	疎	疎		
人	米	疎	疎		
実	負	疎	疎		
働	時	疎	疎		
人		疎	疎		
摘		疎	疎		

二 出張記録

伊豆西日命

召議ニ出張中トコロ記録

三 経理

一中隊共用トシテ江記物品ヲ受領ス

左記

品	目	單位	數量
毛	布	枚	三三六

作業内詳

一、477、俾、比、構、築、作、業、大、途

區	種	指	本	Ⅱ	Ⅲ
區	種	指	本	Ⅱ	Ⅲ
作	業	文	文	枕	枕
業	類	通	通		
敷	米	疎	疎		
量	回	疎	疎		
人	米	疎	疎		
実	負	疎	疎		
働	時	疎	疎		
人		疎	疎		
摘		疎	疎		

九月二十六日
火曜 晴
伊豆 伊豆
07.00

九月二十八日
 伊予作四命
 〇七〇〇

	工	北	面
	進	入	路
	27	8	
	25	34	
	07.00	06.00	
	1.75	1.65	
			二〇本使用
			三本使用

三 出張歸隊

一 伊予作四命 第二十五號
 九月二十七日二〇〇〇
 伊予島國兵學校

喜手納球第六七五〇部隊ニ出張中ノトヨロ歸隊

三 伊予作四命

第二十五號

守備隊命令
 九月二十七日二〇〇〇
 伊予島國兵學校

一 比島ヲ空襲セシ敵艦隊ハ本月二十四日以降口ヲ及南西諸島ニ移動シテ

ルモノトハシ

二 守備隊ハ艦隊ヲ敵ニシテ肉ニ敵ノ空襲ニ備テ警戒ヲ嚴ニスルハシ

三 兩今一般中隊ハ別命アルヲ各隊毎ニ一山隊ヲ以テ射撃訓練ニ充テス

(ハシ)

四 飛行場建設作業間 対空監視、大隊本部之ニ當リ信差地、対空監視ハ

元東通リ衛兵ノ江務トス

守備隊長 西村 大村

下津法 ハ今更領百ヲ果ノ口達筆記セシム

四 経理

一中隊日用品、テ江記物品ヲ受領ス

正記

品	目	單位	數量	品	目	單位	數量
編上靴	組	一六	靴	下	疋	一六	
北下疋袋	組	二七	疋	驗	個	一六	

一 一般

一 物理計測器保管

九月二十九日
 全曜
 伊豆國長岡
 〇七〇〇
 〇八〇〇



〔中隊供用品〕

左記

品名	数量	目録	数量	備註
毛	三六	下	二六	上記物品
絹	一六	餘	一六	第一倉庫格
地下足袋	二七			納

二一般

一飛行場建設作業ニ山下山尉以下七名協力ス

二出張

陸軍大尉 齋 泛 春 美

事務種給、爾嘉手納球第六七五〇部隊本部ニ出張

三人奉

本日、現行買込記、如シ

左記

作業内訳

種別	分種	種別	数量	人員	時間	備註
交通路	交通路	交通路	22	6	06.00	一人一掛押入
交通路	交通路	交通路	32	13	06.00	一人一掛押入
交通路	交通路	交通路	10	3	06.00	一人一掛押入
交通路	交通路	交通路	22	6	06.00	一人一掛押入
交通路	交通路	交通路	32	13	06.00	一人一掛押入
交通路	交通路	交通路	10	3	06.00	一人一掛押入

〔陣地構築作業臨時指導、陣中隊長監視〕

陸軍大尉 齋 泛 春 美

沖副團二八張ニ奉テ部隊本部ニ出張

二出張

一四〇〇
 一四〇〇

一四三〇

一七〇〇

三 経理

將校	准官	下官	兵	出張	入院	計
二	一	八	八九	一五	一一	二六

一 陣中機材等取用材料ノテ江記物品ヲ受領ス

江 記

品 目	数量	備 考
卷	二五〇枚	作業用トシテ旅団ヨリ受領

四 日愈受領

伊守西日命

九月二十九日二九三〇

守備隊命令

一 回番司令 龍 泛 大尉

同 副官 畑 曹 長

巡察將校 鈴 木(池)少尉

日、首領書、通リ回番司令同副官係兼將校ニ服務スヘシ

諸江

九月二十日
江守西日命
〇七〇〇

二 陸軍大尉 龍 泛 曹 長

日、首領書、通リ回番司令同副官係兼將校ニ服務スヘシ

七五〇部隊本部ニ出陣ノ命ス

一 飛行場建設作業ニ止山山村以下七八名協力

作業内

區 区	作 業	数	量	人	実働	人	摘
守 種	類	木	画	米	員	時間	時
中隊	滑	定	路				
完成					22.7	78	09.00
							7.07.00

三人等

本日、現員在ノ如シ

將校	准官	下官	兵	出張	入院	計
二	共	八	八九	一五	一一	二六

目次

- 第一 九月十善行年簿定表
- 第二 六番分敷表
- 第三 種株各小隊支給款額表

目次

目次

附表第一

九月行事課定表

日	曜日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
上	定例行事	越進奇襲	越進奇襲	越進奇襲	越進奇襲	越進奇襲	越進奇襲	越進奇襲	越進奇襲	越進奇襲	越進奇襲	越進奇襲	越進奇襲	越進奇襲	越進奇襲
警備	警備	警備	警備	警備	警備	警備	警備	警備	警備	警備	警備	警備	警備	警備	警備
兵	兵	兵	兵	兵	兵	兵	兵	兵	兵	兵	兵	兵	兵	兵	兵
経	経	経	経	経	経	経	経	経	経	経	経	経	経	経	経
理	理	理	理	理	理	理	理	理	理	理	理	理	理	理	理
衛	衛	衛	衛	衛	衛	衛	衛	衛	衛	衛	衛	衛	衛	衛	衛
王	王	王	王	王	王	王	王	王	王	王	王	王	王	王	王
互	互	互	互	互	互	互	互	互	互	互	互	互	互	互	互
化	化	化	化	化	化	化	化	化	化	化	化	化	化	化	化

諸 課 隊

禮林各州隊支給重表

梅 干	粉 味 嗜	搜 帶 燃 料	搜 帶 正 詰	搜 帶 口 糧	乾 パ ン	精 米	區 分
一 摺	一 箱	一 箱	二 箱	一 箱	十 箱	六 箱	第一小隊
一 摺	一 箱	一 箱	二 箱	一 箱	十 箱	六 箱	第二小隊
一 摺	一 箱	一 箱	二 箱	一 箱	十 箱	六 箱	第三小隊
二 摺	九 箱	五 箱	一 箱	三 箱	五 箱	二 箱	殘 置

77A 冊 一 九 年